

中野駅新北口駅前広場の基本設計等について

中野駅新北口駅前広場（以下「新北口駅前広場」という。）の基本設計が完了したので、その概要について以下のとおり報告する。

1. 新北口駅前広場の概要

（1）整備の経緯

新北口駅前広場は、中野駅北側の交通機能を担う駅前広場として、昭和 37 年 12 月に都市計画決定され、平成 31 年 3 月に新北口駅前地区の街区再編に伴う都市計画の変更を行い、令和 3 年 4 月に変更後の形状に基づき事業認可の変更を行った。

その後、令和 3 年 6 月に新北口駅前広場追加基本設計に着手し、設計を完了したところである。

独立行政法人都市再生機構（以下「UR 都市機構」という。）と東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR 東日本」という。）との協定に基づき実施設計を実施し、段階的に工事着手を予定している。

（2）上位計画における新北口駅前広場の位置づけ

【中野駅地区整備基本計画（平成 30 年 11 月改定）】（別添資料 P 1）

新北口駅前広場について「新しい中野の顔となる都市型複合交通ターミナル」として整備することと位置づけており、この機能を満たす具体的な施設数や歩行者・自動車動線を定めている。

【中野駅駅前広場デザイン等整備方針（令和 3 年 2 月）】（別添資料 P 2）

新北口駅前広場を「新北口歩行者広場」「中野四季の都市ゲート広場」「新北口交通広場」の 3 つの広場空間と歩行者デッキに分け、設計・整備にあたってのデザインや機能の方針を位置づけている。

2. 新北口駅前広場の基本設計での施設概要

（1）新北口駅前広場の地上部（別添資料 P 3）

新北口駅前広場の地上部は、現在の東西連絡路と同じ高さに配置されており、「新北口歩行者広場」「中野四季の都市ゲート広場」「新北口交通広場」の 3 つの広場が配置されている。

○ 新北口歩行者広場

中野駅北口から東西連絡路を渡った部分に、新北口駅前地区再開発事業（以下「再開発事業」という。）の出会いの広場と一体的な歩行者空間となるよう配置されており、豊かな歩行者空間を確保するとともに、公衆トイレ等の配置を検討している。

○ 中野四季の都市ゲート広場

中野四季の都市と接続する部分に、中野四季の都市のゲート空間として配置され、南北通路からつながる新北口歩行者デッキの受け口となっている。また、再開発事業区域を経由して中野五丁目側への歩行者動線の起点ともなっている。

○ 新北口交通広場

新北口歩行者広場と中野四季の都市ゲート広場とに挟まれる箇所に配置され、中野駅西側橋上駅舎の利用者が、バス、タクシー、一般車といった他の交通手段へ乗り換えるための空間となっている。バス、タクシー等の乗降場の施設数は中野駅地区整備基本計画で定めた施設数となっている。

(2) 新北口駅前広場の嵩上げ部 (別添資料P4)

新北口駅前広場の嵩上げ部は、「エントランスデッキ」、「中野四季の都市方面デッキ」、「囲町方面デッキ」の3つのデッキから構成されている。

○ エントランスデッキ

中野駅西側南北通路と直接接続する「エントランスデッキ」は、再開発事業方向、中野四季の都市方向、囲町地区方向への3方向へ分散する歩行者動線の結節点であり、滞留機能を有している。

○ 中野四季の都市方面デッキ

中野四季の都市へとつなげる「中野四季の都市方面デッキ」は、中野駅西側橋上駅舎を利用する歩行者を自動車動線と立体的に分離し、中野四季の都市ゲート広場と直接つなげる歩行者デッキで、必要な部分にエレベーター、エスカレーター、歩行者シェルターを配置することで、ユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線の形成を実現している。

○ 囲町方面デッキ

囲町地区へとつなげる「囲町方面デッキ」は、中野駅西側橋上駅舎を利用する歩行者を囲町地区へとつなげる歩行者デッキで、必要な部分にエレベーター、歩行者シェルターを配置することで、ユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線の形成を実現している。

(3) 新北口駅前広場の歩行者動線イメージ

別添資料P5 歩行者動線イメージ図のとおり

(4) 新北口駅前広場の整備イメージ

別添資料P6 イメージパースのとおり

(5) 整備の進め方 (別添資料P7)

基本設計段階での施工ステップの考え方は、別添資料P7に示すとおりである。なお、安全な歩行者動線の確保と工事期間中のバス乗降機能の確保に重点をおき、実施設計でさらなる深度化を図るものとし、施工ステップや暫定バス乗降場の検討状況については、適宜報告を行っていく。

3. 今後の予定

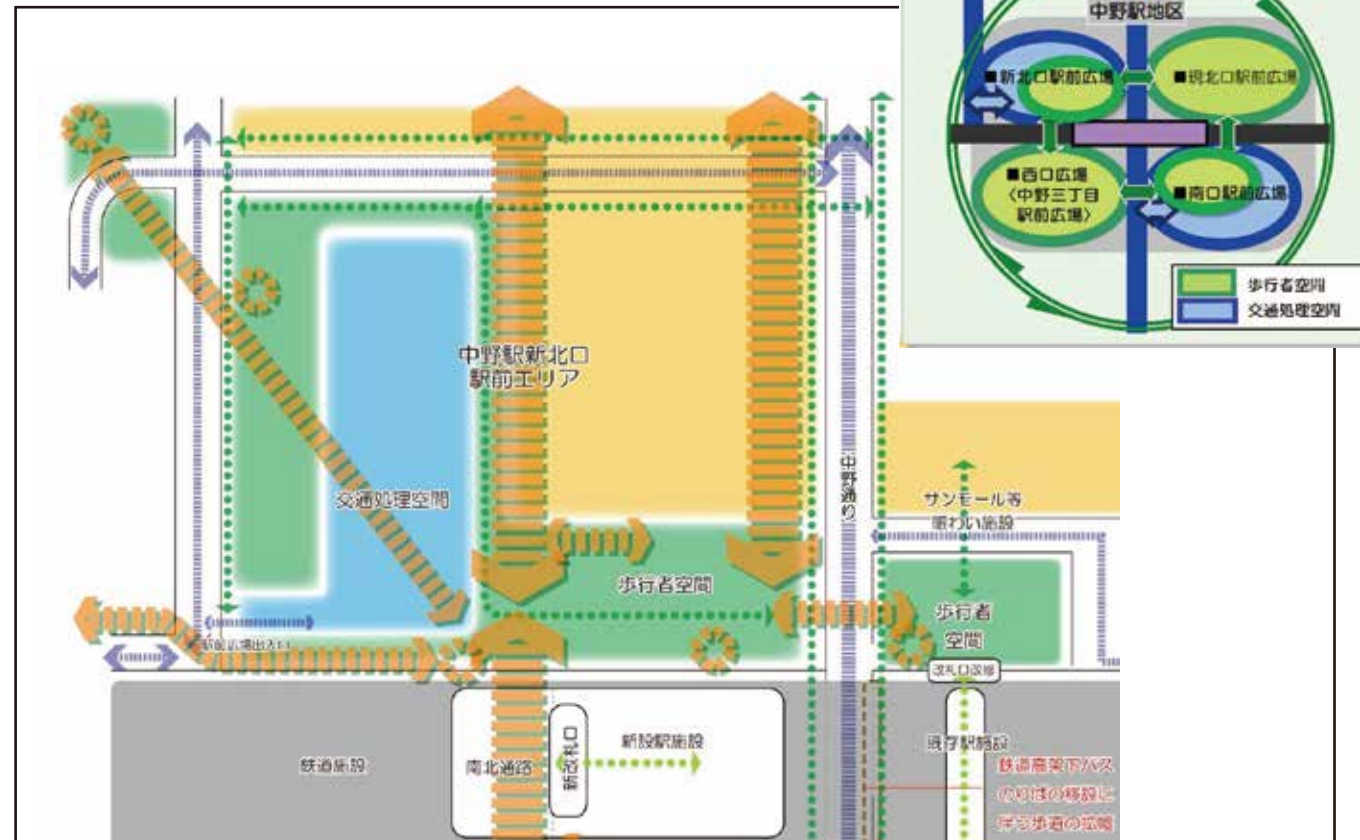
令和5年度前半に本件に関する区民説明会を実施する予定である。

中野駅新北口駅前広場 基本設計

【中野駅地区整備基本計画】

1 / 7

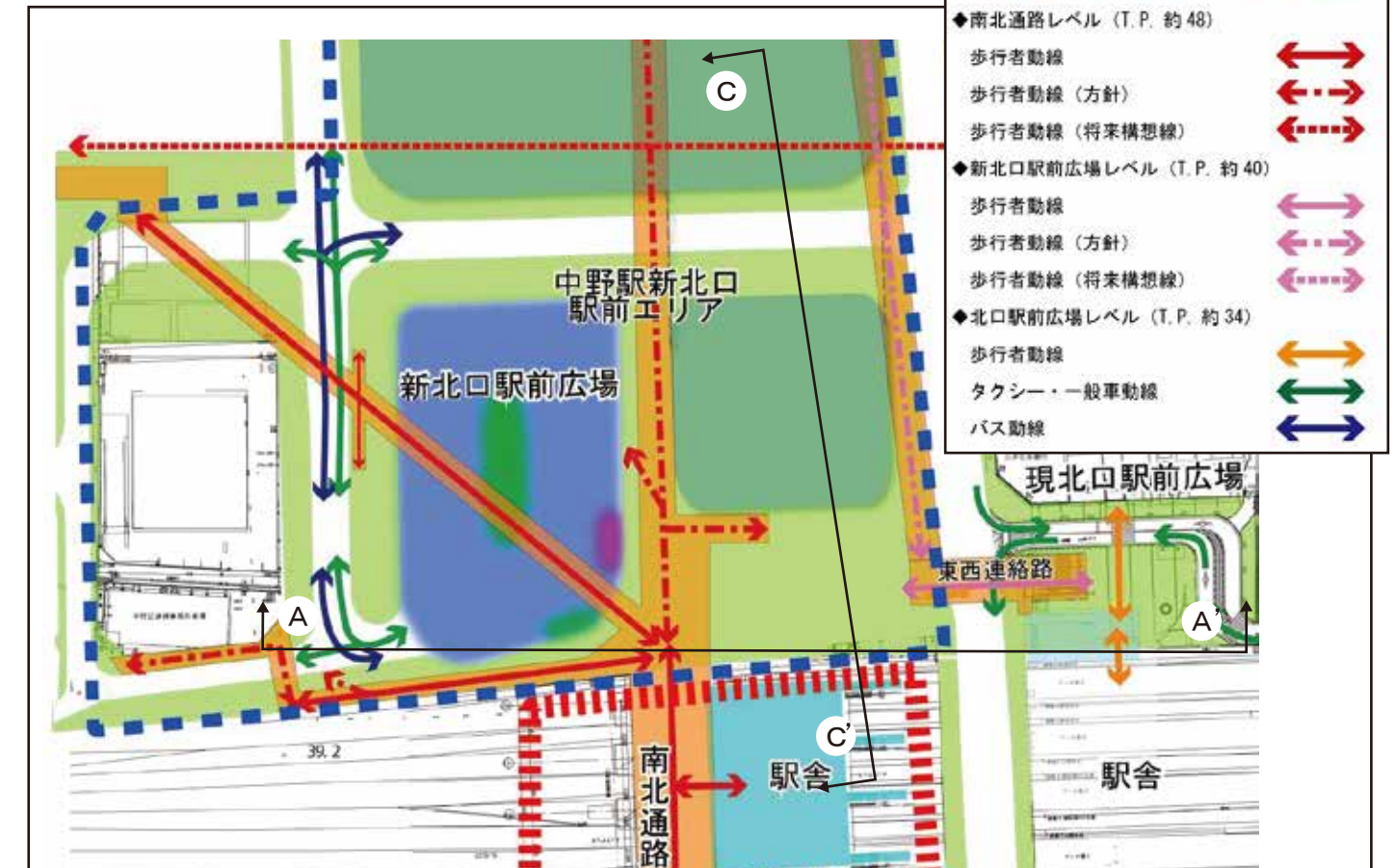
新北口駅前広場 整備の考え方



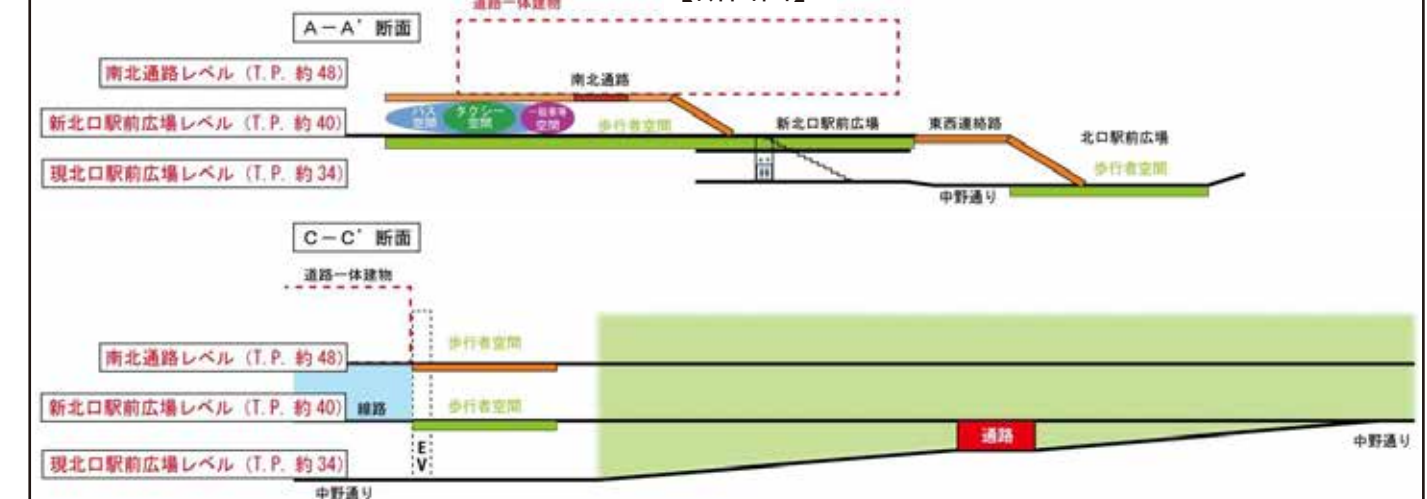
【新北口駅前広場（北西側）】

- 「新しい中野の顔となる都市型複合交通ターミナルの整備」
- 北側の自動車交通処理空間の整備（バス、タクシー、一般車）
- 新改札、南北通路と連携し回遊性の向上に資するユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線、空間の整備
- 周辺と連続性のある歩行者動線、一体感のあるオープンスペース、緑地の整備

新北口駅前広場 整備内容



【断面図】



【新北口駅前広場 交通施設（想定）】

- バスバース 乗車 8、降車 2
- タクシー 乗車 1、降車 1、プール 約 40 台
- 一般車（身障者兼） 乗降 2
- * 車両の出入口は、中野通りへの自動車交通の集中を回避する観点から、広場西側に確保する。

◆中野四季の都市ゲート広場

「中野四季の都市の豊かな緑が顔を出すエントランス」

【中野四季の都市との空間・緑の一体性】

- ・中野四季の都市のエントランスとして、にぎわい・緑の一体的な調和を意識した空間とする。

【歩行者滞留空間の確保】

- ・中野五丁目につながる主動線の起点となる滞留空間を確保する。

中野四季の都市

中野四季の都市
ゲート広場

◆新北口歩行者デッキ

「南北通路と中野四季の都市をつなぐ中野駅前の新たなシンボルとなる歩行者空間」

【緑を感じる歩きやすい歩行者デッキ】

- ・中野四季の都市に直接つながるような施設形状とする。
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、いつでも誰もが安全・快適に通行できる動線とする。
- ・デッキ上からの景色を意識し、緑や開放感を感じられる空間とする。

【デッキ上の開放感の確保】

- ・南北通路北側の玄関口として、デッキ上から中野四季の都市、拠点施設、中野五丁目地区が見通せる開放的な空間とする。
- ・各地区につながる動線の分岐点として、快適に歩行できる動線と滞留空間を適切に確保する。

団町

◆周辺地区との連携

「公民連携して駅前広場の魅力をも高める空間」

⑧【団町と快適につながる歩行者動線デッキ】

- ・公民が連携し、再開発建築物と駅前広場の高低差を円滑につなぐ動線を整備する。
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、いつでも誰もが安全・快適に通行できる動線とする。

⑨【周辺施設からの見え方への配慮】

- ・駅ホーム等、周辺施設からの見え方に配慮した空間とする。

◆新北口交通広場

「円滑に乗換えのできる開放感のある交通結節空間」

【乗り換えのしやすい交通広場の整備】

- ・電車、バス、タクシー等を円滑に乗り換えることのできる空間とする。
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、いつでも誰もが安全・快適に利用できる空間とする。

【植栽の配置】

- ・交通機能に配慮しつつ、シンボルとなる植栽の配置等により、景観に配慮した緑豊かな空間とする。

【デッキ下の開放感の確保】

- ・デッキ下は、明るく開かれた印象となるよう配慮した空間とする。

【周辺施設からの見え方への配慮】

- ・駅ホーム等、周辺施設からの見え方に配慮した空間とする。

拠点施設

中野四丁目

新北口交通広場

新北口歩行者デッキ

集いの広場

中野五丁目

中野通り

出会いの広場

新北口歩行者広場

駅舎

南北通路

中野サンモール
中野通り
鉄道高架下

◆周辺地区との連携

「公民連携して駅前広場の魅力をも高める空間」

- ・公民で連携の上、ユニバーサルデザインに配慮し、いつでも誰もが安全・快適に通行できる回遊動線や、居心地の良いたまり空間を一体的に確保する。

①【新区役所への歩行者動線の確保】

- ・西口改札から新区役所までをフラットにつなぐ、いつでも誰もが安全・快適に通行できる歩行者動線を拠点施設と一体的に確保する。

②【新北口交通広場側の滞留空間の確保】

- ・新北口交通広場に面する拠点施設エリア内に、待機・待ち合わせ等に配慮した、広場と一体的なゆとりある滞留空間を確保する。

③【中野五丁目と快適につながる歩行者動線の確保】

- ・中野四季の都市と中野五丁目地区をつなぐ動線として、緩やかな坂道など、いつでも誰もが安全・快適に通行できる建物と一体的な空間を確保する。

④【拠点施設と連携したにぎわいの創出】

- ・出会いの広場、新北口交通広場及び拠点施設を高低差の無い回遊動線につなぐことにより、拠点施設と連携したにぎわいの空間を創出する。
- ・拠点施設や出会いの広場と中野通りの結節点は、誰もが安全で快適に移動できる立体動線を確保する。

⑤【二つの広場を快適につなぐ歩行者動線の確保】

- ・出会いの広場と集いの広場をつなぐ、いつでも誰もが安全・快適に通行できる動線を拠点施設と一体的に確保する。

⑥【中野通りのにぎわいの創出】

- ・中野通り側のまち並みの連続性に配慮し、中野通りの歩道空間と拠点施設が一体となり、連続したにぎわいの空間を創出する。

⑦【新北口歩行者広場と連携した広場空間の形成】

- ・新北口歩行者広場と出会いの広場は、にぎわいや憩いに適したスペースに配慮し、一体感のある空間デザインとする。

◆新北口歩行者広場

「まちのエントランスとしての出会いの空間」

【歩きやすい動線の整備】

- ・東西連絡通路からつながる空間として、ユニバーサルデザインに配慮し、いつでも誰もが安全・快適に通行できる動線とする。

【出会いの広場と連携した広場空間の形成】

- ・新北口歩行者広場と出会いの広場は、歩行者動線を確保しつつにぎわいや憩いのスペースに配慮し、一体感のある空間デザインとする。
- ・地域のイベント利用等も視野に入れた空間とする。

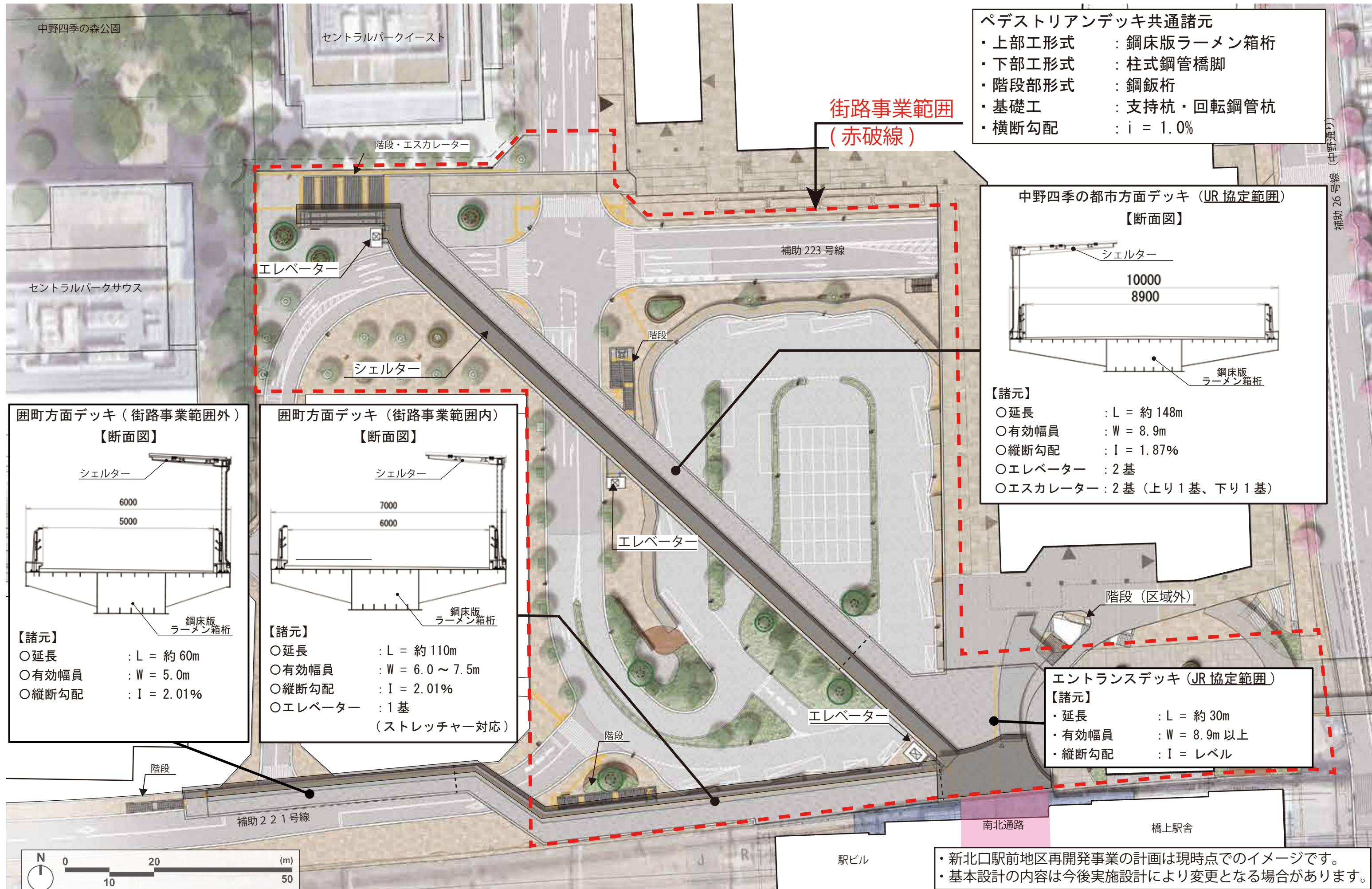
【周辺施設からの見え方への配慮】

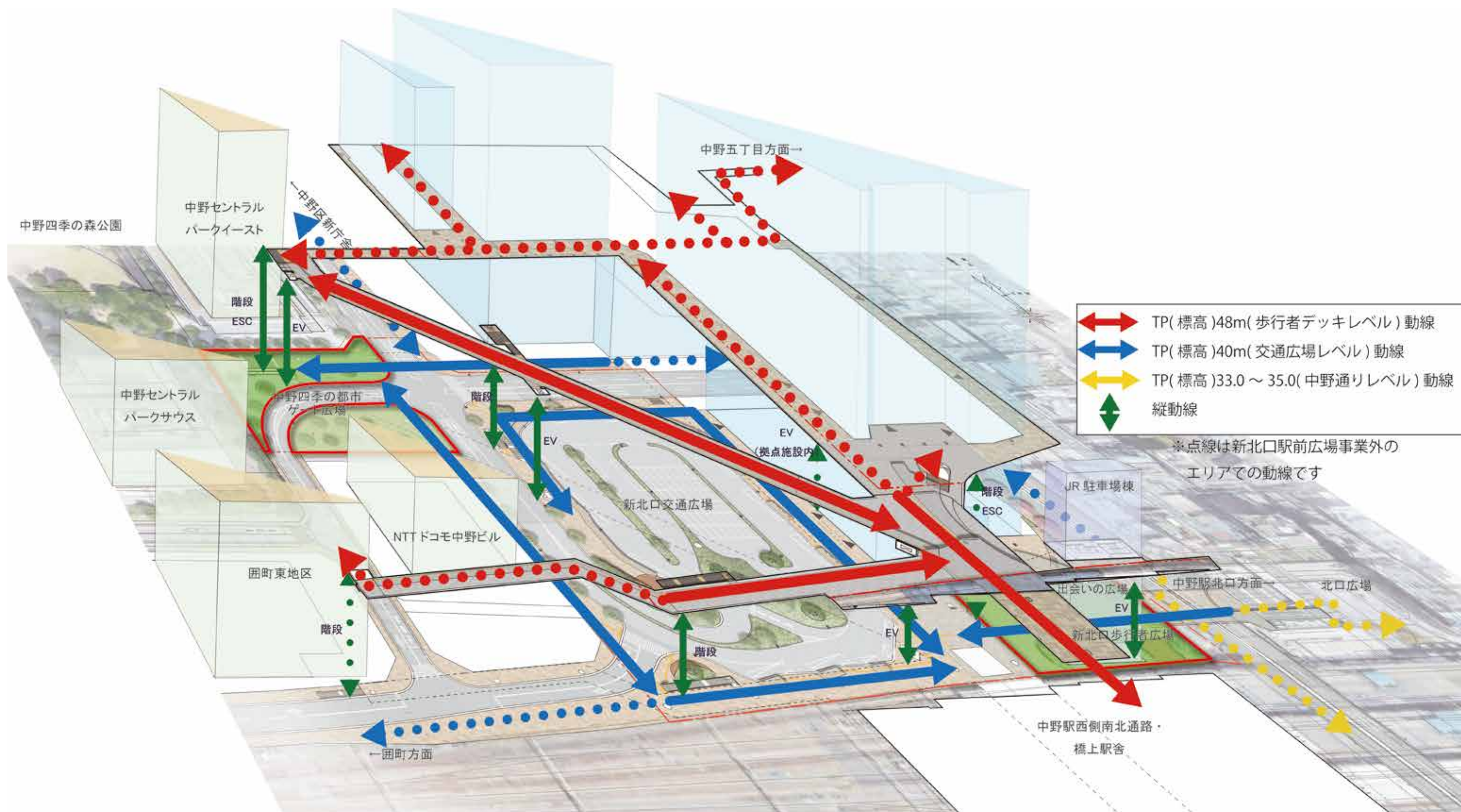
- ・駅ホーム等、周辺施設からの見え方に配慮した空間とする。

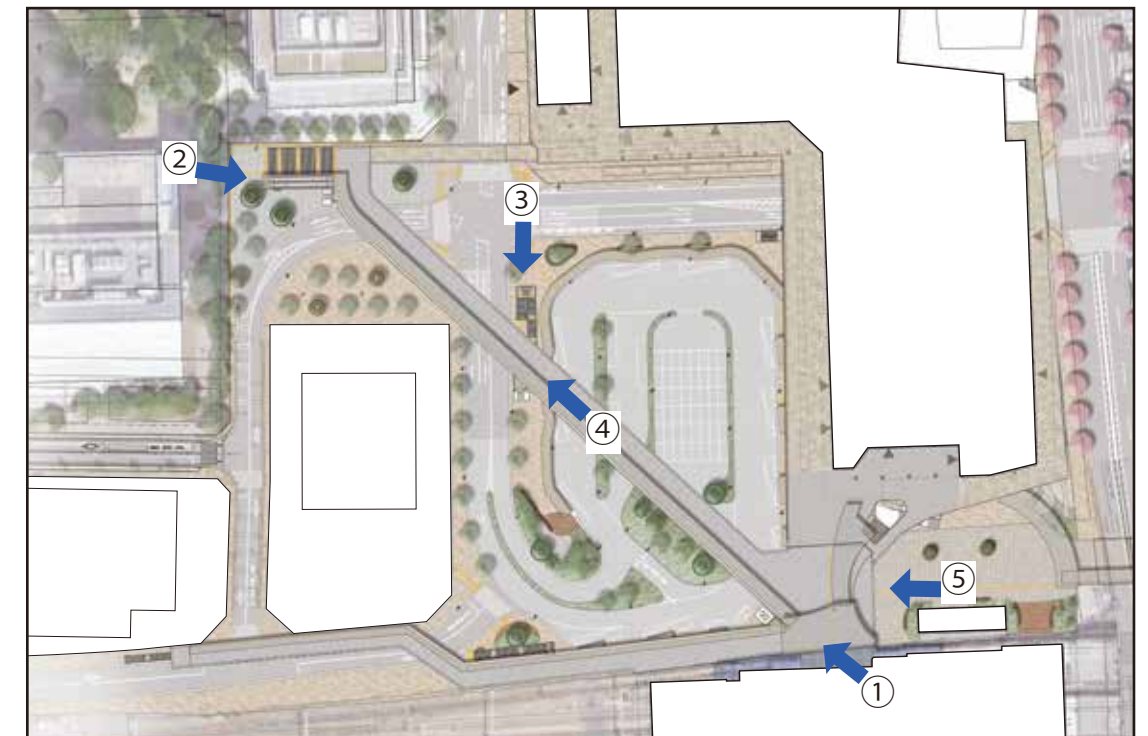
凡例

- 主たる動線（標高約 48m）
- 主たる動線（標高約 40m）
- 主たる動線（標高約 34m）
- 滞留空間（交通・動線）
- たまり空間（交流・イベント）

※現時点でのイメージであり、今後の検討で変わる可能性があります。





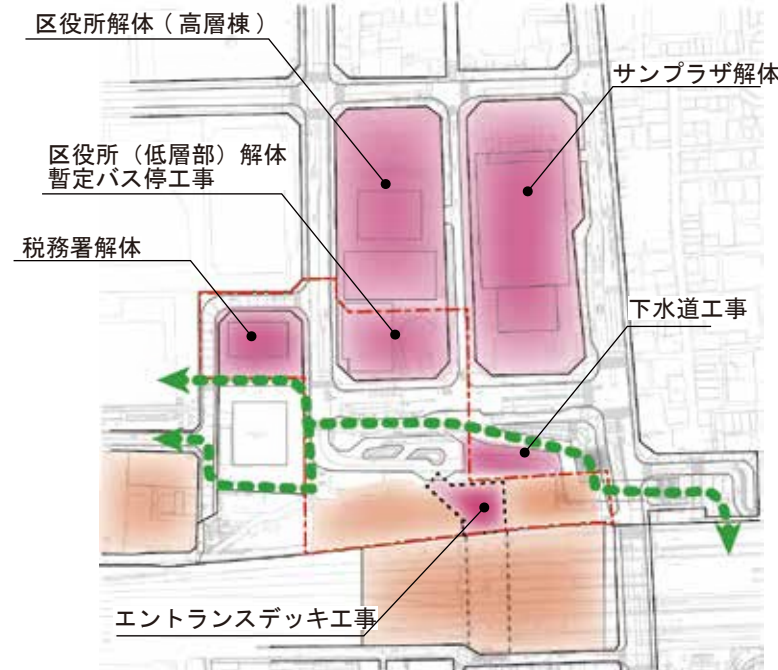


仕様等の詳細については、今後の実施設計において決定します。

現況 令和5年3月

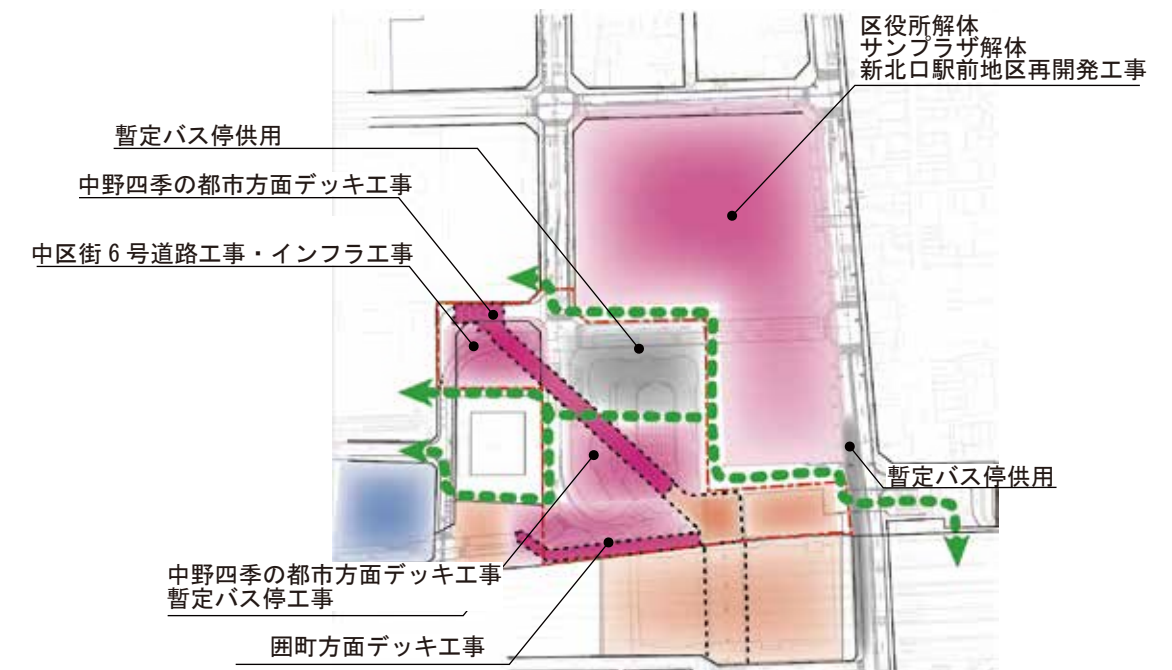


STEP① 令和5～6年度



- 主な予定
- ・税務署解体着手 (令和6年度予定)
 - ・区役所・サンプラザ解体着手 (令和6年度予定)

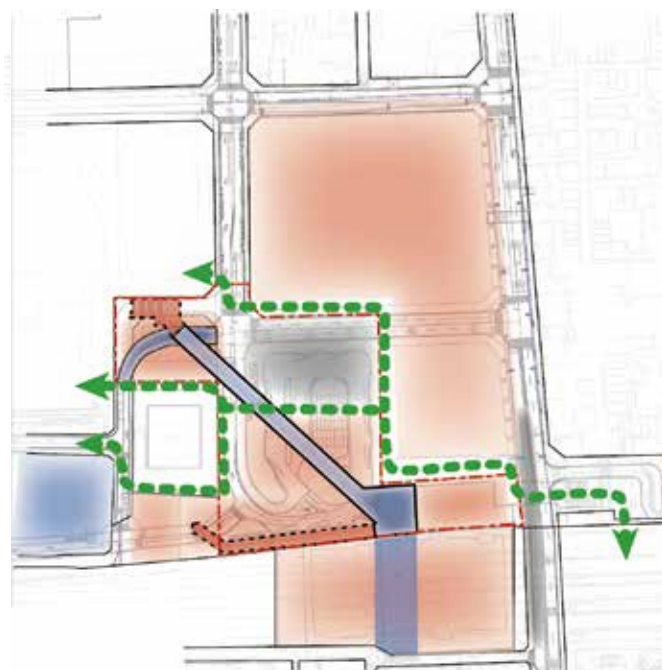
STEP② 令和6～7年度



- 主な予定
- ・暫定バス停（北側）供用開始 (令和7年度予定)
 - ・区役所・サンプラザ前道路閉鎖 (令和7年度予定)

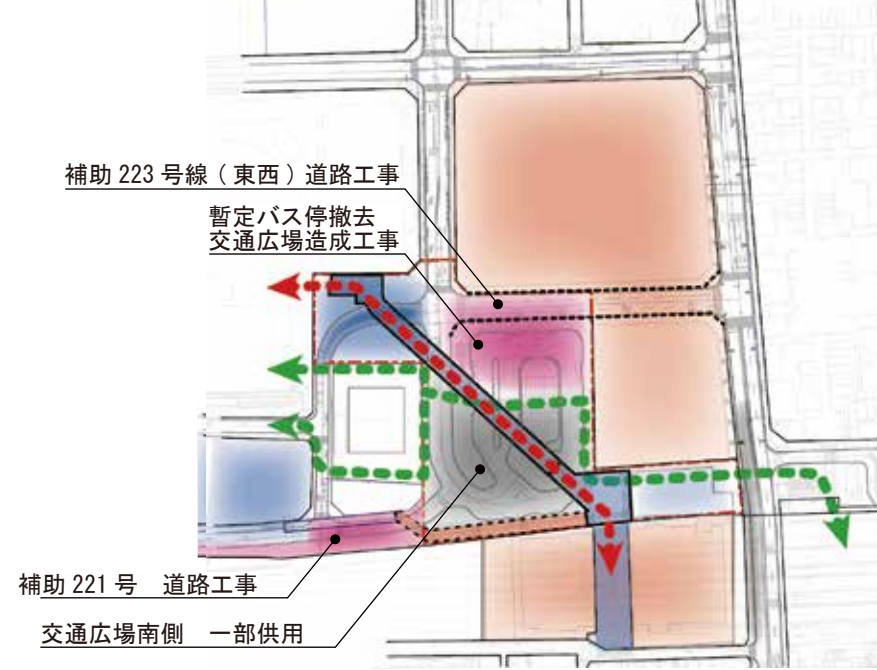
凡例 工事着手 工事中 工事完了 供用中 歩行者動線

STEP③ 令和7～8年度



- 主な予定
- ・西側南北自由通路・橋上駅舎供用開始 (令和8年12月頃)
 - ・歩行者デッキの一部使用開始 (令和8年度予定)

STEP④ 令和8～11年度



- 主な予定
- ・暫定バス停（南側）供用開始 (令和10年度予定)

完成 令和12年3月

